

## 出願情報

<b>1 募集人数</b>	60名 (各学期)	<b>6 出願書類</b>	募集要項を参照 募集要項は法政大学日本語教育プログラムのWebサイトよりダウンロードできます。 <a href="http://www.global.hosei.ac.jp/programs/gairyu/jlp_regular/application/">http://www.global.hosei.ac.jp/programs/gairyu/jlp_regular/application/</a>
<b>2 出願資格</b>	①日本国以外の国籍を有する者 ②外国において日本国以外の学校教育制度による12年の課程を修了し(プログラム開始の前月までに修了見込の場合を含む)、その国において大学入学資格を有する者、またはこれに準ずる者 ③日本語能力試験のN4以上相当の者	<b>7 出願方法</b>	Webサイトよりインターネット出願登録および選考料の支払い手続きを行った後、必要書類を大学へ郵送してください ◆出願のためのガイダンスページは以下をご参照ください。 <a href="http://exam.52school.com/guide/hosei-jlp/">http://exam.52school.com/guide/hosei-jlp/</a> (日本語) <a href="http://exam.52school.com/guide/hosei-jlp-en/">http://exam.52school.com/guide/hosei-jlp-en/</a> (英語) ※ 実際に入力可能な期間は出願期間になります
<b>3 選考方法</b>	書類選考		
<b>4 選考料</b>	25,000円		
<b>5 出願期間</b>	4月入学	2017年11月7日(火)~11月20日(月)	
	9月入学	2018年5月11日(金)~6月4日(月)	

## よくある質問

### 1. 法政大学の宿舎はありますか？

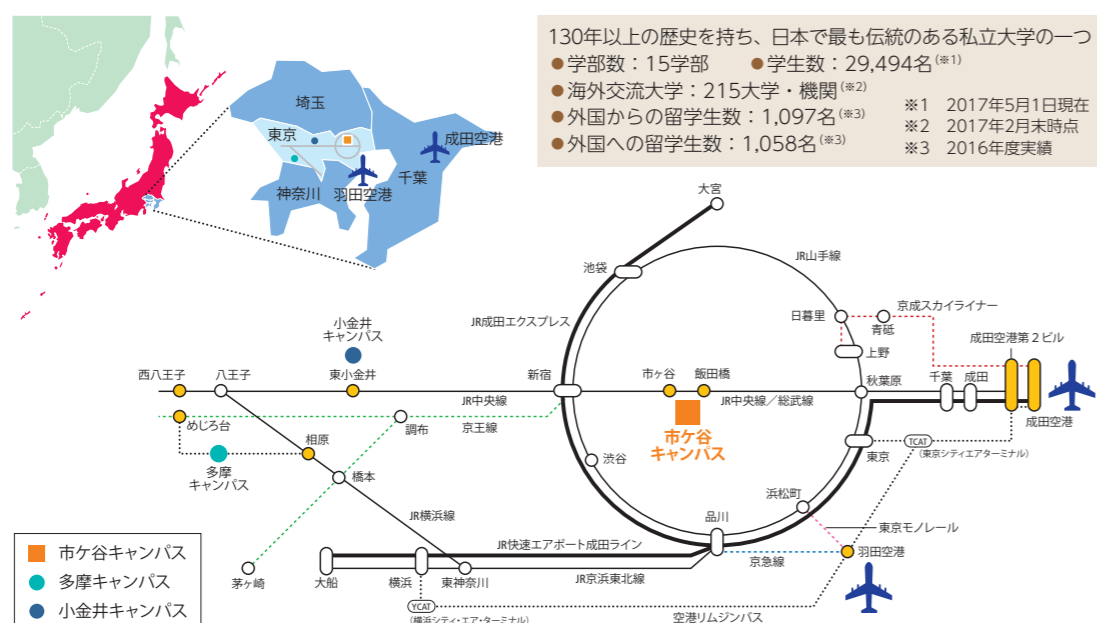
大学が所有する寮や宿舎はありませんが、推薦寮やアパート・マンションの紹介を行っています。市ヶ谷キャンパスの近くだと、家賃は1か月あたり8万円が目安です(立地によってはより安い住まいもあります)。ほとんどの学生は30分以上かけて通学しており、1時間以上かけているケースも珍しくありません。家賃の他にも、初期費用として家賃の3~4か月分かかるのが一般的です。また、アパートなどを借りる際には、多くの場合、日本国内における連帯保証人が必要となります。連帯保証人が見つからない場合、保証金(通常は家賃の3分の1程度)を支払うことで保証会社に保証人代行を委託する方法もあります。

### 2. JLPIに入学した場合、取得できる在留資格の種類は何ですか？

日本語教育プログラムの科目等履修生は、「留学」の在留資格が取得可能です。入学手続き時に「日本に滞在している者」と、「日本に不在の者」で手続きが異なります。なお、「日本に不在の者」で日本に経費支弁者または親族がいない場合は、出願時に申請することにより、大学が代わって、在留資格取得の代理申請が可能です。詳しくは募集要項をご覧ください。

※ 在留資格の審査は入国管理局が行いますので、大学が入学を許可し、代理申請をしても「在留資格認定証明書」が発行されない場合もあります。ご了承ください。

### アクセス 市ヶ谷キャンパス(所在地) 東京都千代田区富士見2-17-1



4月・9月  
開講

# 法政大学 日本語教育 プログラム

春学期・秋学期 科目等履修生

## HOSEI University Japanese Language Program



グローバル教育センター  
E-mail: h-jlp@ml.hosei.ac.jp

問い合わせ グローバル教育センター 日本語教育プログラム (JLP) 事務局  
E-mail: h-jlp@ml.hosei.ac.jp  
[http://www.global.hosei.ac.jp/programs/gairyu/jlp\\_regular/](http://www.global.hosei.ac.jp/programs/gairyu/jlp_regular/)



# HOSEI University



## JLPについて

法政大学日本語教育プログラムでは、日本の大学で日本語や日本文化を学びたいという熱意を持った留学生を科目等履修生<sup>(※)</sup>として受け入れます。

中級から上級まで、多彩な日本語科目を用意しており、日本での生活や大学での勉学に役立つ日本語の習得、また、将来の仕事に必要な日本語力の習得を積極的に支援します。さらに、総合大学における幅広い学生との交流の機会を提供することで、広い視野を持ち、グローバル社会に貢献できる人材を育てることを目指します。

※ 科目等履修生とは、学位を取るためではなく、大学の授業に参加し、単位を取る学生のことです。

## プログラムの特徴

### 1 学校教育法に定められた履修証明書の交付

学校教育法第105条に定められた履修証明制度に基づき、プログラムを修了した者には、学校教育法に基づくプログラムであることを示した履修証明書 (Certificate) を交付します。

### 2 レベル別の授業

学生の日本語力に合わせた、レベル別授業を展開しています。学生は、生活に必要な日本語、大学での授業や学問に必要な日本語、将来の仕事に必要な日本語を学ぶことができます。

また、上級レベルの方には、進学、キャリアに役立つ「ブリッジングコース」が充実しており、①学部・大学院の授業に必要なアカデミックな日本語を学ぶ科目、②大学、大学院の授業の前提となる日本社会の背景知識を学ぶ科目 (日本社会文化、政治経済、歴史)、③日本語によるビジネスコミュニケーションを学ぶ科目、が用意されています。

### 3 少人数で集中的に学べる環境

1クラスは約20名で、語学学習に適したクラスサイズで学ぶことができます。少人数クラスなので、教員は、一人ひとりの上達や学習の状況を把握しやすくなります。また、学生は発言や質問がしやすくなり、より活発な授業が実施できます。

## プログラム内容

### ● 授業期間

	4月入学生	9月入学生
1年間コース	4月初旬～7月末、 9月中旬～翌年1月末	1年間コース 9月中旬～翌年1月末、 翌年4月初旬～翌年7月末
半年間コース	4月初旬～7月末	半年間コース 9月中旬～翌年1月末

### ● プログラム費用

登録料 (各学期)	50,000円
履修料 (各学期)	400,000円

※ 出願の際に選考料 (25,000円) が必要となります。

### ● カリキュラム

レベル	対象	学習目標
中級	J4 日本語能力試験 N4 相当	日本での生活に必要な日本語力に加えて、大学、大学院での勉学に必要な基礎的なアカデミック日本語力の習得
	J5 日本語能力試験 N3 相当	
上級	J6 日本語能力試験 N2 相当	高度なアカデミック日本語力、日本社会文化の基礎知識の理解、ビジネス日本語力の習得
	J7 日本語能力試験 N1 相当	

## 授業一覧 (時間割)

	月	火	水	木	金
1限	J4 集中 I	J4 集中 II	J4 集中 III	J4 集中 IV	J4 集中 V
	J5 集中 I	J5 集中 II	J5 集中 III	J5 集中 IV	J5 集中 V
	J6 集中 I	J6 集中 II	J6 集中 III	J6 集中 IV	J6 集中 V
2限	J4 聴解・語彙・漢字	J4 読解文法 I	J4 作文・発表	J4 会話	J4 読解文法 II
	J5 読解文法 I	J5 会話	J5 読解文法 II	J5 作文・発表	J5 聴解・語彙・漢字
	J6 読解文法 I	J6 アカデミック日本語1	J6 聴解・語彙・漢字	J6 読解文法 II	日能試N1対策
3限					日能試N2対策
	J7 ビジネス日本語1	J7 日本社会とメディア	J7 フィールドワーク・課題研究		J7 アカデミック日本語2
4限	J7 ビジネス日本語2	J7 日本社会と文化			J7 アカデミック日本語3
5限	J7 ビジネス日本語3		J7 日本の政治経済 (春) J7 日本の近現代史 (秋)		

- ・上記の時間割は変更する可能性があります。ご了承ください。
- ・一週間に8科目以上12科目まで履修することができます。
- ・各レベルの集中 I～Vはセットで履修する科目です。5日間連続して受講する必要があります。
- ・読解文法 I・IIもセット科目です。学期中、どちらか一方のみ履修することはできません。

## 在学生の声

法政大学JLPへの留学を決めた理由を聞いてみました!

日本語学校よりも授業の選択肢の幅も広く、日本人との交流の機会も多いと考えて、法政大学JLPに進学しました。実際に語学以外の専門科目の授業を受けていますが、難しい分やりがいを感じています。昼休みには日本人学生と食事をしながら交流ができ、生きた日本語を学んでいます。留学当初は、勉強や学生生活などで上手くいかなくて落ち込むこともありましたが、あきらめずに積極的にチャレンジしたことで、今は充実した日々を送っています。私は将来は日本語教師になりたいと思っているので、いつか自分の生徒に話せるように、もっと色々なことを経験したいと思います。

香港出身 LAM HO TIM (リン コウテン) さん 22歳



中国の大学では日本語を専攻していました。いつも日本語を使える環境に身を置くことが大切だと考え、留学をしようと決意しました。歴史ある有名な法政大学で日本語を学び日本文化や日本の生活を肌で感じたいと思いました。実際に大学に通ってみると、周りの留学生の日本語力も高く、もっと勉強しなければいけないと刺激を受けています。授業は難しいこともありますが、先生はどんな質問に対しても、わかりやすく説明をしてくれるので、楽しく理解を深めています。JLPへの入学を検討しているみなさんには、留學生活を実のあるものにするために、留學前からしっかりと勉強しておくことをおすすめします。

中国出身 ZHOU XIAOYUN (シュウ ギョウウン) さん 21歳

勤めていた企業の歴代代表が日本の大学出身者であったこともあり、日本でMBAを取得したいと考えていました。まずは、日本語力を上げるため法政大学JLPに入学しました。私は、大学院進学も視野に入れていたため大学院の情報も調べました。法政大学に魅力を感じたのは六大学の一つであり、国際化に力を入れている点です。また、市ヶ谷という都心にキャンパスがあるのも決め手の一つです。当たり前ですが授業はすべて日本語で行われるため、集中力が求められますが、その分日本語力が上がります。JLPを修了した後は大学院へ進学し、日本で就職したいと考えています。

韓国出身 KIM SEONGHYEON (キム ソンヒョン) さん 33歳

